

いっていたのは、転船先を紹介する一覽のページだ。たゞそこにはたゞの名前・肩書きだけ。祖母は、嬉しそうに「載せていたよ」と教えてくれた。

「探してくれただね、ありがたう」

「はい、祖母はいろいろ微々たることではあるけれど、人だと思つて町の出来事を知りたいものなのに触れ、誰かを思い出すためのものだ。祖母の魂と新聞には、ニューズだけでなく、おまけの『心文』（しんぶん）というものが附かれて



釧路新聞創刊80周年記念エッセー入選作品